

2003年11月～2019年8月に糖尿病で受診された方へ

～診療情報を用いて「腎機能保護に関連する要因」を

検討することについての説明文書～

当院では、以下の研究を実施しています。情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の間合せ先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

課題名	糖尿病腎機能障害に関連する要因の後ろ向き検討
研究期間	西暦 2019 年 10 月 ～ 2020 年 7 月
研究の対象	2003年11月～2019年8月に当院で血清マグネシウム（血清 Mg）を測定し、糖尿病薬が処方されている方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：患者番号、性別、年齢、SGLT2 阻害剤および降圧剤使用の有無、身長、体重、BMI、腎症分類、血清 Mg・HbA1C・クレアチニン等の検査値） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
研究の意義、目的	糖尿病患者の腎機能保護には血糖・血圧管理が重要です。それ以外に重要な要因は何か、外来での通常診療で測定できるデータで解析します。腎保護に重要な要因を特定することで糖尿病患者の腎機能障害の予防・治療に役立てます。
研究の方法	電子カルテから、性別、年齢、体重、血液、尿のデータ等を抽出します。腎機能保護する要因が何かを統計学的に導き出します。これまでにわかっていることは高血糖、高血圧は腎機能を悪化させます。今回の研究ではそれ以外の要因をみいだすことです。データは個人の氏名等がわからないようにして解析します。
研究組織	研究責任者：柳川達生 研究分担者：西川賢・水谷洋佑・東宏一郎
試料・情報を利用する範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 当院内科で利用 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内（提供先： ）（提供方法： ） <input type="checkbox"/> その他（提供先： ）（提供方法： ）
個人情報の保護	研究を通じて得られた情報を学術雑誌や学会で発表することがあります。しかし医療情報などは匿名化した番号で管理するため、個人が特定されることはありません。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

東京都練馬区旭丘 1-24-1

公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 TEL:03-5988-2200

研究責任者：柳川達生